

---

▽▼さかた農林水産業お役立ち情報 第101号(2023年6月2日)

---

最近、朝ドラの影響で草花が気になっています。まもなくこの地域も梅雨入りしそうですね。草花にとっては恵みの雨、庭の手入れに手を焼く季節ではありますが、朝ドラ主人公のモデル牧野博士の名言「雑草という草はない!」、その言葉どおり愛を持って手入れに勤しみたいと思います。同時に、梅雨期は大雨の影響も気になります。心が痛むような被害が起こらないことを祈りつつ日々を過ごします。

(担当) M.S

酒田市の農業関連支援事業一覧

[https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/news/seido\\_nosei.html](https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/news/seido_nosei.html)

---

(目次)

1. 情報(スマート農業)を利用した生産技術研修会の受講生を募集します
  2. 県外からの移住者の営農開始を支援します
  3. 令和5年度やまがた農業リーダー育成塾の受講生を募集します
  4. 有害鳥獣被害対策推進事業費補助金の公募
  5. いか釣り船団出航式を開催します!
  6. 6月は食育月間です
  7. 山形のうまいもの創造支援事業プロジェクト募集!
  8. 農山漁村地域持続的発展活動支援事業 助成事業募集
  9. 元気な農村(むら)づくりスタートアップ支援事業 応募者募集
  10. 米に関するマンスリーレポート等(令和5年5月)
- 

【1. 情報(スマート農業)を利用した生産技術研修会の受講生を募集します】

肥料価格高騰、気象災害の増加など、農業を取り巻く環境が大きく変化している中で、収量低下を防ぐために必要な対応やスマート農業の活用について、実践的な手法を学べる研修会の受講者を募集します。

○日時／

- 第1回 令和5年6月9日(金) 13時30分から15時「初期生育の評価と今後の対応」
- 第2回 令和5年6月9日(金) 15時10分から16時40分「初期生育評価」
- 第3回 令和5年7月3日(月) 13時30分から15時「生育転換点の評価と今後の対応」
- 第4回 令和5年8月7日(月) 13時30分から15時「生育後期の評価と今後の対応」
- 第5回 令和5年11月27日(月) 13時30分から15時「令和5年稲作の評価と圃場カルテ評価」

第6回 令和5年12月11日（月）13時30分から15時「令和6年の稲作の戦略」

○場所／スマート農業研修センター（酒田市大宮町四丁目9番3号）

○対象／水稻を営む農業者等

○定員／10名程度

○受講料／無料

○申し込み／榊ファーム・フロンティアへ（電話25-0830）

<https://www.famfro.co.jp/news/5146>

○問い合わせ／市農政課担い手支援係（電話26-5766）

---

## 【2. 県外からの移住者の営農開始を支援します（経営開始支援助成金のお知らせ）】

県外からの移住者（Uターンを含む）で、農業に関わる多様な担い手が安定して営農を開始できるよう就農資金を支援します。

○対象／山形県への移住者で新たに営農を開始する者（Uターンによる移住を含む）

○要件／下記の要件をすべて満たす方※

①令和4年4月1日以降に県外から山形県へ移住し、令和5年4月1日以降に営農を開始した方（農業経営体の専従者となったことを含む）

②国庫事業（新規就農者育成総合対策）等の対象とならない方（農業法人等を含む）

③原則、満18歳以上満65歳未満の方

④認定新規就農者でない方

※農地の取得要件等については、国庫事業に準じます

○対象経費／営農開始時に必要な経費（農地確保や資材等の購入に要する経費）

○補助率等／定額750千円／年 最長1年間

○応募期間／令和5年6月12日（月）まで

○手続きの流れ／概ね、下記の流れで行います。

①営農計画等の作成（助成対象者→市）

②営農計画等の承認（市→助成対象者）

③交付申請（助成対象者→市）

④交付決定（市→助成対象者）

○問い合わせ／市農政課担い手支援係（電話26-5766）

---

## 【3. 令和5年度やまがた農業リーダー育成塾受講生を募集します】

企業的な経営感覚を備え、生産性・収益性の向上を目指すとともに、先進技術の導入や多様な人材の活用、労務環境の改善に取り組むリーダー経営体の育成を目的に開講します。

6月9日（金）までに酒田農業技術普及課へお申し込みください。

- 開催時期／令和5年7月から令和6年2月(10日程度)
- 会場／県村山総合支庁（山形市）ほか
- 対象者／生産性・収益性の向上を目指すとともに、次のいずれか1つの目標に取り組む経営体(農業法人等)
  - (①法人化②労働環境の改善③多様な人材の活用④地域農業や地域社会に貢献する農業の実現⑤先進農業技術の導入のいずれかに取り組むこと)
- 募集人員／10名程度
- 資料代／14,700円（現地研修・宿泊研修、商談会への出展経費等は実費負担）
- 問い合わせ／山形県立農林大学校 研修部へ（電話0233-22-8794）
- 申し込み／酒田農業技術普及課へ（電話22-6521）
- 詳細は「農林大学校ホームページ」（<https://ynodai.ac.jp/>）をご覧ください。

---

#### 【4. 有害鳥獣被害対策推進事業費補助金の公募】

野生鳥獣の農作物被害対策として、次のように農地への電気柵等の設置費用を支援します。

- 対象者／農業者、農業者団体
- 補助事業／電気柵またはワイヤーメッシュ柵を農地に設置する費用
- 補助率等／対象経費の2分の1、上限額20万円で、予算の範囲内とする。
- 添付書類／申請書には次の資料を添付してください。
  - ①電気柵等の見積書、②設置場所及び設置内容の分かる任意の資料、③出荷伝票等、直近で出荷が分かる任意の資料、④団体の場合は規約等
- 公募期間／令和5年7月25日（火）まで
- 問い合わせ／市農政課複合経営振興係（電話26-5752）

---

#### 【5. いか釣り船団出航式を開催します！】

6月11日（土）、酒田港において「いか釣り船団出航式」を開催します！

五色のテープと勇壮な和太鼓の演奏とともに今期のスルメイカ漁に向かう中型いか釣り船団の出航を盛大に見送ります。皆さん、どうぞ出航式においでいただき、船団をお見送りください。

- 日時／6月11日（日）午前10時から午後1時（予定）
- 場所／酒田港袖岡埠頭・水産第2岸壁（定期船「とびしま」発着所の対岸）※雨天時は山形県漁業協同組合で行います。
- 内容／式典：午前10時より 船団紹介、花束贈呈など 出航：正午頃 太鼓道場「風の会」による演奏、五色の紙テープによる見送り
- ※いか焼き、水産加工品、地元特産品等の販売も行います。

○問い合わせ／市農林水産課（電話 43-8708）

---

【6. 6月は食育月間です】

6月の食育月間に合わせ、食育関連パネルの展示を行います。

○期日／6月19日（月）から30日（金）

○場所／市役所1階フリースペース

○問い合わせ／市農政課総合農政係（電話 26-5792）

※食育優良活動表彰の受賞者の活動を合わせて紹介する予定です。

---

【7. 山形のうまいもの創造支援事業プロジェクト募集！】

県では、「食品製造業者の商品開発」や、「農林漁業者自らの6次産業化」等に向けた取り組みに必要となる機械導入等を支援します。

○応募期限／令和5年6月16日（金）まで、プロジェクト計画書を作成し提出

○提出先／市農政課総合農政係

各支援の内容は以下のとおりです。詳細については、県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.yamagata.jp/140031/sangyo/nourinsuisangyou/nogyo/6jisanogyo/souzoushien2023.html>

◆「食品製造業者の商品開発」に対する支援

○応募資格／県内に主たる事業所を有する食品製造業者

○補助対象／プロジェクト実現のための機械装置、器具備品及びそれらの導入に必要な最小限の施設改修施設改修（事務通信機器、既に有する機械の代替品、リース機械は対象外）

○補助率／3分の1以内（上限3,000万円）

○問い合わせ／庄内総合支庁地域産業経済課（電話 0235-66-5490）

◆「農林漁業者自らの6次産業化」の取り組みに対する支援

○応募資格／農業者、森林所有者又は漁業者

○補助対象／プロジェクト実現のための機械装置、器具備品及びそれらの導入に伴う施設改修（事務通信機器、既に有する機械の代替品、リース機械は対象外）

○補助率／3分の1以内（上限3,000万円）

○問い合わせ／庄内総合支庁農業振興課（電話 0235-66-5519）

---

【8. 農山漁村地域持続的発展活動支援事業 助成事業募集】

県では、地元の農林水産物を使った「地域を元気にする取り組み」を応援します。

○募集期間／令和5年5月11日（木）から6月23日（金）まで

○応募資格／

- ・2人以上で組織される団体・組織及び個人
- ・農林漁業者、農林漁業者で構成するグループ等

○対象事業／

◆6次産業化の取組み

地元の農林水産物を使った商品開発に向けた検討、加工品等の試作、料理や体験メニューの開発、食品等成分分析、市場調査、商品パッケージ等のデザイン制作、試作品等のブラッシュアップや販売促進活動など

◆農林水産物生産の取組み

伝承作物等を新たに栽培する取組みの検討、現在生産している農林水産物の価値を高めるための新たな生産技術導入の検討

◆その他の取組み

木質バイオマス等を利用した再生可能エネルギーの生産・活用、糞などを活用した再生可能エネルギーの循環の仕組みづくり、その他目的達成に向け知事が認める取組み  
また、これらに必要な最低限度の機器等の導入

○補助率等／

- ・事業検討の場合 ①検討に要する経費 補助率3分の2（上限20万円/件）
- ・機器等導入の場合 ①検討に要する経費 補助率3分の2（上限20万円/件） ②機器等導入に係る経費 補助率2分の1（上限80万円/件）

○事前相談・お問い合わせ／庄内総合支庁地域産業経済課へ（電話 0235-66-5490）

詳細に関しては、県のホームページからも確認できます。

<https://www.pref.yamagata.jp/140017/sangyo/nourinsuisangyou/nogyo/nosangyoson/nousangyosontiikijizokuteki.html>

---

【9. 元気な農村（むら）づくりスタートアップ支援事業 応募者募集】

県では、地域資源を活用して地域の活性化に取り組む活動を応援します。地域の農林水産物などを活用して、地域を元気にする新しい取組みを始めませんか？

○応募者／地域の行動計画（集落戦略など）のある中山間地域などの集落・組織の代表者

○補助額／上限25万円（活動に必要な旅費、謝金、消耗品費、通信費、使用料、委託料など）

○活動例／・ブドウの農業体験を受け入れ、ワイン醸造、独自ブランドワインを販売

- ・田植えや稲刈りなどの体験を通し、耕作放棄地を有効活用
- ・古民家の修復や収穫体験などで都市住民との交流促進 など

○相談・受付窓口／庄内総合支庁農村計画課（電話 0235-66-5549）

※随時募集していますが、予算がなくなり次第募集を終了します。詳細は県のホームページ

をご確認ください。

<https://www.pref.yamagata.jp/140017/sangyo/nourinsuisangyou/nogyo/nosangyoson/genkinamuradukuristartup.html>

---

【10. 米に関するマンスリーレポート等（令和5年5月）】

農林水産省より5月号が配信されました。詳しくは下記URLよりご参照ください。

○主な掲載内容

特集

今、米粉（コメコ）がとってもアツいんです！

○農林水産省（マンスリーレポート）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

○農林水産省（統計情報）HP

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>



酒田市農政課メールマガジン 「さかた農林水産業お役立ち情報」

発行日：毎月1回

発行元：酒田市農林水産部農政課

☆ 酒田市の農業に関するホームページ

<https://www.city.sakata.lg.jp/sangyo/nogyo/index.html>

◇ メール内のリンク先へのアクセスに起因する通信料の増大や被害等については、発信者は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

◇ メールマガジンへの配信登録、アドレス変更、配信停止はこちらのメールに返信してください。

